

交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科

国際学部・国際学科

留学先国名

アメリカ

留学先都市

ボイシー

留学先大学

ボイシー州立大学

留学先所属学部

コミュニケーション

留学期間（〇年〇月～〇年〇月）

2022年8月～2022年12月

学年（出発時）

3年

帰国報告書提出日

YYYY MM DD

2023 / 04 / 18

1. 留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

ボイシー州立大学は敷地が広く、落ち着いた場所にあります。敷地内にはプロフェッショナル用かと思うぐらいのアメフトのスタジアムがあり、迫力があります。大学横には川があり、それを越えるとダウンタウンに行くことができます。授業はほとんど少人数制で実施されています。イベントごと盛んで、Splutter Partyというイベントは音楽をガンガンにかけて、インクがそこら中から飛んでくるので是非参加してほしいです。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

ボイシー州立大学には留学生のための場所があるので、困ったらそこに行けばいいと思います。現地学生と現地の形式で講義に参加するので、もちろん語学面で劣ってしまうことはあります。しかしそこで気を弱くするのではなく、先生や隣のクラスメイトに頼れば、必ず助けてくれるはずですよ。

勉強面でのサポート

課題は大変ですが、教授それぞれアセンブリアワーというアポイントメントを取って会える時間を設けているので、そこで相談すればいいかと思います。教授だけでなく、クラスメイトにも頼れる人たちがばかりなので、彼らに頼るのも一つの手です。

精神面でのサポート

カウンセラーはありますが使う機会が無かったです。カウンセラーを使わなくとも、教授や生徒、皆他の人のことを気にかけてくれる人ばかりなので、何か困りごとがあれば打ち上げればよいと思います。

生活・住居面でのサポート

ボイシー州立大学は寮生活になります。僕の寮は数ある寮の種類の一つのSuitesで、その中でもClearwater Suitesでした。現地大学のHPで寮についてのページがあるので、そこを確認すると分かりますが、僕の部屋は4人一部屋で、扉を開けるとリビングとキッチンがあり、それぞれ1人ずつの寝室がありました。

そしてボイシー州立大学は学生には嬉しい金銭面でのサポートも提供しています。大学にはフードパントリーという施設があり、そこではおそらく訳アリ？商品や売れ残りが多く並べられており、無料で持つて帰ることができます。果物、乳製品、肉、缶詰、スナックさらには歯ブラシやトイレットペーパーなど、結構色々な物をゲットできるので自炊をする方は絶対使った方が良いです。

2.生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

留学生は現地校生よりも早くに寮に着くことがあると思います。部屋には入ることができますが、電子レンジ、ポットやトイレットペーパーなど、料理や生活に必要な物が置かれていないので、数日間は生活に困ると思います。寝具も無かったので、受付に借りれるかどうか聞いた方がいいます。（私は寝具を借りられました。）フードパントリーは大学が始まってから開くと思うので、食料が確保できないと思います。なので、空港に着いたらそこで食事を済ませるか、コンビニで食べ物と飲み物がある程度買えばいいと思います。また、それで足りなそうであれば、大学内にStudent Unionという場所があるので、そのSubwayなどで腹ごしらえをするのも有りでしょう。（休み期間だと営業時間が早く終わる可能性大なので、余裕を持って行くように。）

(2) パソコンについて

PCの保有状況

- 日本から持参した
- 現地で購入した
- 保有しなかった

Wi-Fiの有無

有

無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

無料です。

大学でのPCの使用可否

使用できた

使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

図書館にはどこでもある。他の施設はちらほら。

(3) 医療について

Health center（大学内施設として）の有無

有

無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

扁桃炎で喉が痛いときがあったので、そのときに使いました。受付も診てくれる人も優しい人なので、気軽に受けられます。受診料と薬は無料ではありません。

(4) 銀行口座について 留学先で口座を開設しましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

開設していない。

(5) 異文化体験について 留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

大学には様々な世代の人がいました。僕と一緒に世代もいれば、親世代、さらには年配の方まで学びに来ていました。それを見て「大学には本当に学びたい人が来るのだ」と感じました。さらに授業ではたくさんの方が積極的に挙手し、意見を述べます。そこから授業では発言が重要視されることが分かりました。思いをストレートに伝える人が多いので、よく褒めてくれる人が多かったです。覚えているのが、プレゼンが終わった後、教室を出て歩いていると、後ろからクラスメイトがわざわざ声をかけに来てくれ、プレゼンの感想や質問をしてくれました。とても嬉しい気持ちになりました。なのでみんなも友達やクラスメイト、見知らぬ人、誰でも褒めよう！そうすればみんなが気持ちよく暮らせます！！

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

大学では日本語クラブに入っていました。日本語好きの生徒ばかりなので、仲良くなれること間違いなしです。スポーツクラブに入るのもいいと思います。なかなか日本人以外の複数の人数でスポーツをする経験はできないと思うので。学校外ではInternational Students Inc.という団体のスティーブという人がイベントに招待してくれていたもので、それにも参加していました。その人や、それに関係している生徒とは、留学生オリエンテーションで知り合えると思うので、積極的に参加すればいいと思います。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

ボイシーは本当に安全でした。でもだからといって万が一のことがあるので夜に1人で歩くなどはやめた方がいいでしょう。(特に女性は。)しかし身の危険を感じることはありませんでした。

ですが、ハリウッドに旅行に行ったときは気をつけてください。Walk of Fameという場所で観光をしていたのですが、コスプレイヤーに楽しげに「一緒に写真を撮ろうよ!」と言われるがまま撮ると、チップを要求されました。他には黒人の人がCDを持ちながら、「俺ラッパーなんだ、これにサイン書いてあげるから聞いてね」と半ば強引に渡してこようとします。それも受け取ってしまえばチップを要求されます。観光客と思われてしまえば、つきまとってくる人もいます。なのでそういう人たちに声をかけられて、お金を払いたくなければ無視することを強く勧めます。

3.後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報(HPや出版物等)を記入してください。

<https://www.gousa.jp/experience/weekend-boise>

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

冬服(長袖パーカーなど)は2~3着持っていけばいいと思います。ボイシーの冬は寒いです。それとユニクロの薄いダウンを持って行った方がいいと思います。日差しが強い時があるのでサングラスも。持っていたらiPadも。

医薬品(日本人の体に合わせて作られているため)、冷えピタ、歯ブラシ、のど飴(龍角散がオススメ)、日焼け止め(日差し強いです。)、リップクリーム(現地でも売っていますが、日本の製品の方が日本人の体に合っているのではないのでしょうか。)

もしいるなら:日本食(カップ麺、味噌汁、缶詰、お茶漬け等)長い期間外国にいと、日本食が恋しくなります。日本のスナック(現地の友達にもしおみやげを渡したければ持って行った方がいいかも)

いらぬ物:虫除けスプレー(ボイシーには蚊やゴキブリなどの害虫がいませんでした。)

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

思っていることをしっかりと伝えることが大事だと学業面と非学業面で学んだ。学業面では、たくさんの学生が講義で積極的に挙手し、意見を述べていた。その姿から、発信することの大切さを学び、非学業面では、ある日のプレゼン後の男子生徒がわざわざこちらに来て、褒めてくれたことから学んだ。思いを発信することで、誰かと話を進める一歩にもなるし、1日の質を高めてくれる。褒められることによって人は「今日も良い一日だった。頑張ってた良かった。」と思える。なので、積極的に思いを伝えることは大切だ。

もう一つ学んだことは、何事にも「遅い」ということは無いことだ。大学には色んな世代の人たちが学びに来ていた。彼らが授業で発言や、学んでいる姿を見て、強い思いがあれば実行できるということも学んだ。

語学力：

留学前－資格試験名称および点数（級）

TOEIC 750点

留学後－資格試験名称および点数（級）

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

ボスカヤリに参加するため（後に説明あり）ボストンに行ったときでした。ボスカヤリは11/4～6に開催だったので、3日に着くようにフライトを取ったはずですが、何をぼーっとしていたのか分かりませんが、2日に着いてしまいました。このままでは寝る場所も食べる場所も困ると思い、偶然そこで暮らしていた知り合いの人に緊急で連絡を入れ、宿泊先やレストランなど何から何まで手配してもらい、お世話になりました。その人には本当に感謝しています。なので、フライトを予約するときはしっかりと要確認しましょう！

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

それぞれにはシラバスがあり、評価方法は授業によって違います。でも全てに共通するのは、授業への参加度合いです。出席はもちろんですが、積極的に発言しているところを評価されていると感じました。そして課題に関しては、日曜にメ切が多かったので、現地学生はそれを土曜日に終わらし、日曜日は思いっきり遊んでいる友達が多かったです。課題は簡単ではありません。しかしやりがいがあります。1人で悩まず、教授やクラスメイトを頼ろう！

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

日本人留学生のための就職イベントのボストンキャリアフォーラム（ボスカリ）に参加しました。ボスカリは200社以上の日本の企業や外資系企業が集まり、ブースで説明会を開きます。ボスカリの特別な点は、その場で面接を受けることができます。私は全く知らなかった専門商社の説明会を聞き、面接に参加すると三次まで進むことができました。2022年度の開催日は11/4～11/6の3日間でしたが、その3日で頑張る！というわけではなく、ボスカリが始まるまでの準備が大事です。ESではないですが、レジュメというのを作成できます。そこには、自己PRやガクチカ、経歴や資格を載せることができます。レジュメ一つ書き終えてしまえばそれを色んな会社と同じ内容で渡すことができます。ここで注意なのが、レジュメを企業に提出してしまえば、提出後のレジュメは編集できないことです。なのでしっかり自分の味を出せているかチェックしましょう。そして、レジュメが通れば、企業からWEB面接の案内が来ます。そこで上手くいけば、一次、二次と進み、ボスカリの会場にて最終面接となります。全ての企業がこの形式ではないですが、当日に会場でレジュメを出したい場合は、企業が「Walk-in募集」とアピールしてくれているはずなので、レジュメをどんどん提出しましょう。

4.費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート

\$1 = ¥130, 142, 150

(2) 航空運賃

364,890円

(3) 住居費

住居費（月額）

\$1,520

住居費（留学期間合計）

\$6,080（住居費とご飯代がセットになっています。）

(4) 食費 (月額)

\$1,520 (住居費とご飯代がセットになっています。) ミールプランで50食提供してくれる、\$515のBroncoプランを買いました。

(5) 保険料

43,730円

(6) その他

(7) 留学費用の合計

娯楽代含め約1,400,000円だと思います。

5. その他 自由に記入してください。

留学するかどうか迷っているかも知れません。しかし、一歩踏み出せば、ありきたりな表現ですが、本当に世界が広がります。世界には素晴らしい人々でいっぱい、彼らと出会えるチャンスです。絶対に日本で経験できないようなことも海外ではできちゃいます。毎日が本当に楽しいです！悩んだら絶対行くべき！一生忘れられない経験になること間違いなし！

このフォームは 近畿大学 職員用 (@itp.kindai.ac.jp) 内部で作成されました。

Google フォーム